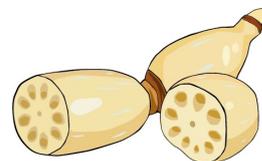


白くて、重くて、太くて、真っ直ぐ！ 「ムチムチ、シャキシャキ、モチモチ」レンコン！

栽培のポイント

●根を元気にして「太れる環境」作りから！

レンコンは常に水があり酸欠状態です。生の有機物があるとメタンガスなどが発生し、根を腐らせます。根が腐るとレンコンの肌は黒ずみ、肥大不足になります。バクヤーゼKで前作の残渣をしっかりと分解し、根の環境を整えましょう。



●レンコン太れば、品質・収量が向上！

生育後半までチッ素が効いてしまうと、無効分茎(肥大充実しない茎)が多くなり、増収は望めません。後半にMリンPKでしっかりとリン酸を効かせることで、レンコンはずっしりとよく太り、モチモチ感も引き出せます。耐病性の強化にもつながるので、品質だけではなく収量も向上します。

●「病気の泥沼」を「金の池」に変えよう！

レンコン栽培の大きな課題は「腐敗病」。前作残渣のすき込み時の病原菌も原因の一つです。バクヤーゼKの投入が善玉微生物による残渣分解を進めます。また、生育を阻害する有毒ガス(硫化水素)対策には、光合成細菌・サンレッドで色の白い「秀品レンコン」を作ろう！

「省力化」「リン酸・カリの吸収効果」「耐病性強化」
追肥は流水施肥が出来るMリンPKがコストバロシ！

レンコンの施肥提案 (1a=30坪)

資材	元肥	追肥① 立ち葉 1.5 葉前後	追肥② 立ち葉 3~4 葉前後	追肥③ 止葉伸長期
MリンPK(8:3)	4kg	2kg	2kg	2kg
バクヤーゼK(ぼかし肥)	30kg	—	—	—
アミビタA液肥	尿素 6kg	2L	2L	2L



窒素分追肥は、「アミビタA液肥」による流水施肥が、効果的です！

【作り方】水 100L+アミビタA 20kg
+サンレッド 200cc+尿素 20kg

黒変・腐敗は圃場の有害ガス障害です。その対策と根の肥大促進には、光合成細菌「サンレッド」がお勧め！

★ レンコンの主成分は「糖質」です！

デンプンや「ムチン」という粘り気が多い成分が独特の歯ごたえを生み出します。「光合成促進」によってムチンも増えます！



土づくり (1a=30坪)

- ※ 前作の収穫後に…
- 堆肥 200~300kg
 - バクヤーゼK 1袋
 - バイオ健太クン 1袋

<目的>

- ・ 地力の向上、透水性改善
- ・ 茎葉残渣すき込み